

## 2023年8月8日 おもやいキッズ（長崎大学学童保育）

毎日暑い日々が続いている今年の夏。長崎大学 文教地区 おもやいセンターの子ども達はとっても元気いっぱいでした。今回は11人の小学生と遺伝について楽しく勉強しました。

### PTUの味

PTUの試薬をしみこませた細長い紙をなめて、味がする、しないの特徴をみていきます。子ども達は恐る恐る紙を舐めて、「うわ、苦い！」と顔をしかめる子もいれば、「味しないよ～」という子もいました。そして、味がする人、しない人の数の違いについてグラフを作成しました。



グラフを見て、気が付いたことを発表してもらい、グラフではわからない大人と子供の違いについてもみんなで確かめました。昔はこの「苦みを感じる特徴」が食べてはいけないものを判断するために大切だったけれど、今ではもうあまり必要ない特徴であること、このように遠い昔の特徴を祖先から受け継がれていることを学びました。

### 遺伝の木



みんなの体の特徴を観察します。『巻き舌はできる？できない』『二重まぶた？一重まぶた？』『親指はグリーンと曲がる？曲がらない？』など、鏡やルーペを使ったり、隣のお友達と見せ合いっこしたりしながら、自分の特徴をシートにまとめました。周りのお友達と同じ特徴もあれば、違う特徴があることに気づきながら、楽しく自分の特徴をまとめることができました。

次に、自分の特徴をあらわしたシールをカードに貼って、自分の特徴が花びらになった可愛いお花を作りました。お花の真ん中には自分の似顔絵を描きます。みんな上手に、自分だけのお花ができました。そして、このお花を“遺伝の木”に貼りました。木の枝分かれている部分に“特徴”が示してあり、木の根元から枝に向かって、自分の特徴が示してある方向に進み、行きついた枝先にお花を貼ります。みんなのお花を貼ってみると…たくさんの枝にお花が咲きました。いろんな特徴を持ったお友達がいるから、たくさんの枝にきれいに お花が咲くことに気づくことができました。

### 特徴ゲーム

みんなが待ちに待ったゲームの時間。このゲームは、観察した自分の体の特徴を使ったゲームで、みんな立った状態からスタートします。代表のお友達に自分の特徴を1つずつ発

表してもらい、その特徴と違う人は座っていきます。たくさん子ども達が「自分の特徴を発表したい!」と言ってくれるぐらい大盛り上がり。この日は2人のお友達が発表してくれましたが、1つ1つ特徴を発表していくと、立っている人数が少なくなり…。最後には発表してくれたお友達1人になりました。このゲームを通して、1つの特徴をみると同じ特徴を持っている人はたくさんいるけれども、たくさんの特徴をみていくと、同じ特徴の組み合わせを持つ人は誰もいないこと、人間は1人1人違うことを学びました。

### おわりに

みんなが元気に楽しんで参加してくれたので、私達も一緒に楽しく学習することができました。今回の講座後に、家に帰って、お父さんやお母さんと同じ特徴を探して“遺伝”についておうちの人と共有してくれたお友達もいたそうです。

また、当日お休みだったお子さんも、後日、遺伝の木にお花を貼ってくれたとそうです。

子ども達は、自分がお父さんとお母さんから生まれてきた大事な命であること、周りにいる人が「一人ひとり特徴が異なる、世界にただ一人の存在」であり、「みんな大切な人」であることを学んでくれました。

みんなで楽しく過ごしたこの時間が、これからたくさんの人と出会う子ども達の役に立つことを願っています。



文責：遺伝看護・遺伝カウンセリングコース1年 井手尾里美、田崎千尋